

第2章 四市町の現状

第1節 四市町の概要

四市町は、愛媛県西南部の中心都市宇和島市と、宇和島市を囲む北宇和郡吉田町、同郡三間町、同郡津島町で構成されています。合計面積は 469.36 k m²で、県内最大面積の市である松山市の 289.35 k m²を大きく上回っています。

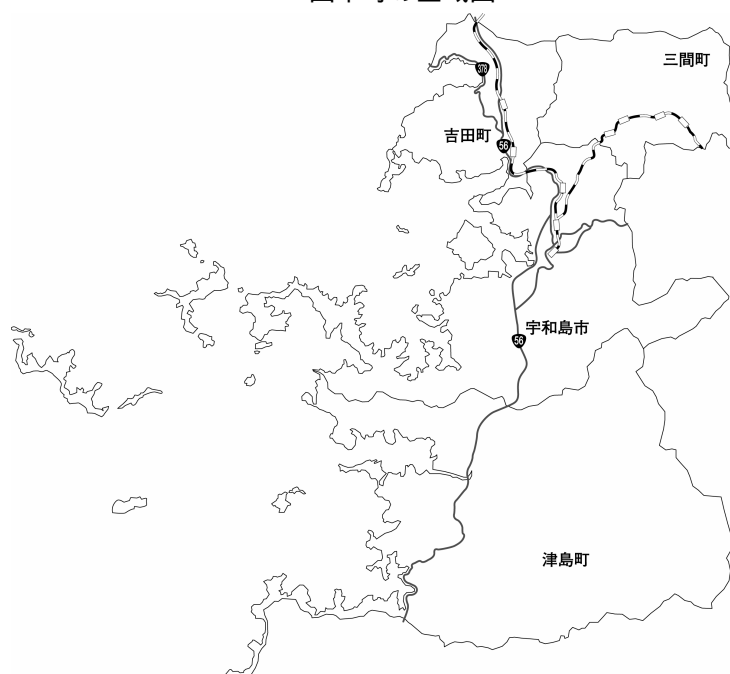
西は宇和海に面し、入り江と半島が複雑に交錯した典型的なリアス式海岸が続き、藤原純友の本拠地として名高い日振島をはじめとする5つの有人島と多くの無人島があります。海まで迫る急峻な山々は、起伏の多い複雑な地形を形成しており、海岸部の平野や内陸部の盆地に、市街地や集落が点在しています。河川の多くは宇和海へ注ぎますが、三間川は四万十川に合流し、高知県へ流れ、河川の分水嶺にもなっています。

鉄道は、JR 予讃線・予土線が宇和島駅を起点に、松山方面や高知方面と結ばれており、宇和島・松山間の所要時間は約 80 分です。道路は、高知から松山に至る国道 56 号が四市町の中心を南北に貫くほか、阿南市から高松市、高知市を経て大洲市に至る「四国横断自動車道」の宇和島～大洲間で整備が進められ、さらに国道 56 号宇和島道路として、津島～宇和島間の高規格道路も着手されています。

歴史的には、10 万石を拝領した伊達政宗の長庶子、秀宗の伊達家による宇和島藩と宇和島藩から分知された吉田藩に属し、幕末四賢候に数えられた伊達宗城（むねなり）（ ）は郷土の誇りとなっています。

産業は、農業、水産業と商業が中心となっており、みかん、米の生産と、真珠、タイ、ハマチの養殖が盛んです。

四市町の区域図



()伊達宗城（むねなり）：宇和島藩 8 代藩主。土佐藩の山内豊信らの幕末四賢候として有名。幕末の世を乗り切るために、長州藩出身の蘭学医・大村益次郎の招へいによる西洋知識の導入や、蒸気船の建造や砲台の設置などの近代軍備の整備などに努めた。また、蛮社の獄（江戸幕府が渡辺華山らの蘭学者グループを弾圧した事件）で捕らえられ後、脱獄した蘭学者高野長英をかくまった。

第2節 各市町の概要

第1項 宇和島市

人口 62,126 人の宇和島市は、宇和島藩 10 万石の城下町として栄えた県西南部の中心都市で、四市町の地理的中心に位置します。

中心市街地は三方を山に、西方を宇和海に囲まれた平地に高密度に集積しており、中心部に宇和島城のある城山があります。宇和海には4つの有人離島があり、その一つの九島が豊後水道の風浪をさえぎり、湾内は波おだやかな天然の良港を形成しています。

歴史的には、文禄4年（1595年）に築城の名手藤堂高虎が宇和郡7万石の領主となり、この地に本格的な城下町としての体裁を整えたと言われています。慶長19年（1614年）には、仙台伊達政宗長庶子、秀宗が宇和郡10万石を拝領し、以来、歴代藩主の善政によって繁栄し、独自の文化を築いてきました。

産業は、真珠やタイ、ハマチの養殖を中心とした水産業と、かんきつ類を中心に、果樹、野菜、米など多種多様の作物が栽培される農業、地域中心都市としての商業、水産加工などの工業がバランスよく発展しています。観光は、宇和島城、伊達博物館などの歴史資源の観光や全国的に有名な闘牛のほか、うわじま牛鬼まつり、和霊大祭などイベント、さらには釣りなどで多くの人を訪れます。

第2項 吉田町

人口 13,001 人の吉田町は、宇和島市の北に位置する農業と漁業の町です。

地勢は山並みが複雑に入り込み、そのまま海に落ち込んでいる急傾斜地帯であり、平坦部は総面積 48.12 km²の約 10%にすぎず、谷間や海岸線に集落が形成されています。このような地勢はかんきつ栽培に最適であり、南予特有の「耕して天に至る」段々畑を形成しています。

みかんは全国一の出荷量を誇り、果物生産日本一の8町村による「フルーツサミット」構成のメンバーにもなっています。

漁業は、海面養殖業が盛んで、マダイとぶり類、真珠が中心になっています。

歴史は古く、中世に入ると西園寺氏の支配を受け、明暦3年（1657年）に伊達秀宗の第五子宗純が3万石を分知され吉田藩を創立し、伊達9代210余年にわたる陣屋として発展しました。陣屋の街並みを再現した「吉田ふれあい国安の郷」は町の観光スポットです。

全国に6つある同名の吉田町の交流事業や、今までにない企画、アイデア等を町民等から募り、町民が実施する企画や活動に対しては資金面で支援していく「がいな制度」など、独自のまちづくり施策を実施しています。

第3項 三間町

人口6,651人の三間町は、宇和島市の北東、吉田町の東に位置する農林業地域です。県道広見・三間・宇和島線や宇和・三間線、西谷吉田線により、宇和島市、宇和町、広見町、吉田町の四方に通じ、宇和島市街地から車で15分の距離にあります。町の中央を四万十川の支流である三間川が流れています。

県内屈指の米どころとして知られ、「美沼姫」のブランド米作りを主として農業中心に発展してきました。野菜栽培や、乳牛の飼育、イチゴの新品種「レッドパール」の開発や休耕田を利用した花き栽培などにも、積極的に取り組んでいます。工業は、自動車部品関連や縫製の工場が立地しており、商業は、地元商業が中心ですが、現在、地域の産業振興と四国横断自動車道開設後の観光客の受け皿として、道の駅を整備中です。

観光では、四国霊場41番札所龍光寺・42番札所仏木寺や中山池、運動公園、穴ヶ滝自然公園などがあり、文化芸能では「えびす相撲」、「天神花踊り」や、「統一秋祭り」での鹿の子や唐獅子、牛鬼などがあります。

近年は、町により「定住促進団地」としてコスモスタウンを分譲するなど、宇和島市街地の郊外に位置する有利な立地を活かして、若者定住にも力を入れています。

第4項 津島町

人口13,863人の津島町は、宇和島市の南に位置し、西は宇和海に面しています。

海岸は典型的なリアス式海岸で、その多くの地域が足摺宇和海国立公園の区域内にあり、海面の上昇または地盤の沈降にもとづいて形成された海岸の繊細な入江と、島嶼が造り上げる景観は郷土の誇りです。また、宇和海に長く突き出した三浦半島と由良半島に囲まれた湾内は、波静かな自然の良港を形成しています。

背後には南予を代表する1,000m級の山々が連なっており、複雑に入り組んだ谷に、シロウオ漁で有名な岩松川など多くの河川が流れています。また、有人離島として竹ヶ島があります。

産業では、稲作、かんきつ類、木材などの農林業、マダイ、ハマチを中心とする魚類養殖、真珠養殖の水産業が盛んです。特に真珠養殖は、真珠母貝、真珠生産ともに国内有数の生産地です。

観光では、梅・つつじ・しょうぶなど四季折々の花ごよみが楽しめる、四国最大15万㎡の規模を誇るレクリエーション都市公園「南楽園」や、温泉を核とした複合施設「津島やすらぎの里」があります。また、獅子文六の小説「てんやわんや」の町としても有名です。

祭りは、二隻の和舟が競い合う勇壮な「由良神社の裸祭り」や「牛鬼」、「五ツ鹿踊り」など多彩です。

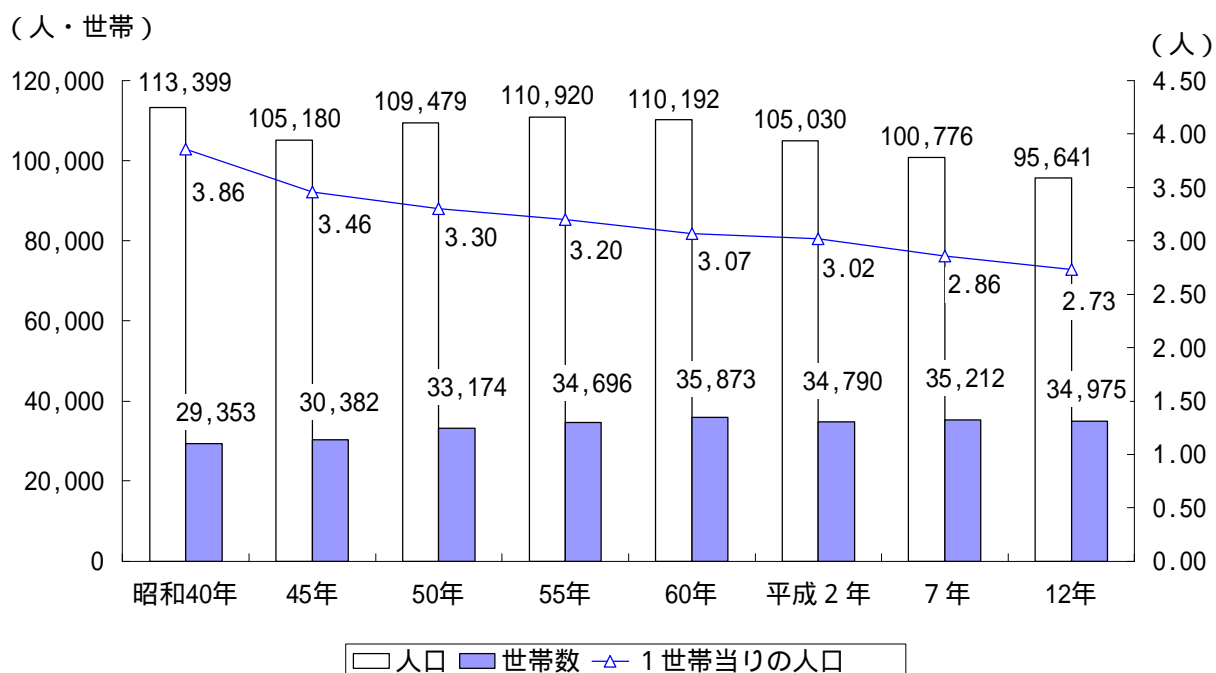
第3節 人口・世帯

国勢調査によると、平成12年の四市町の人口は95,641人、世帯数は34,975世帯です。人口は昭和50年から55年にかけて増加しましたが、昭和60年から再度減少に転じ、現在に至っています。1世帯あたりの人口は四市町とも減少しており、平成12年には2.73人となっています。

各市町ごとの平成12年の人口は、宇和島市が62,126人、吉田町が13,001人、三間町が6,651人、津島町が13,863人で、いずれの市町も人口減少が続いています。

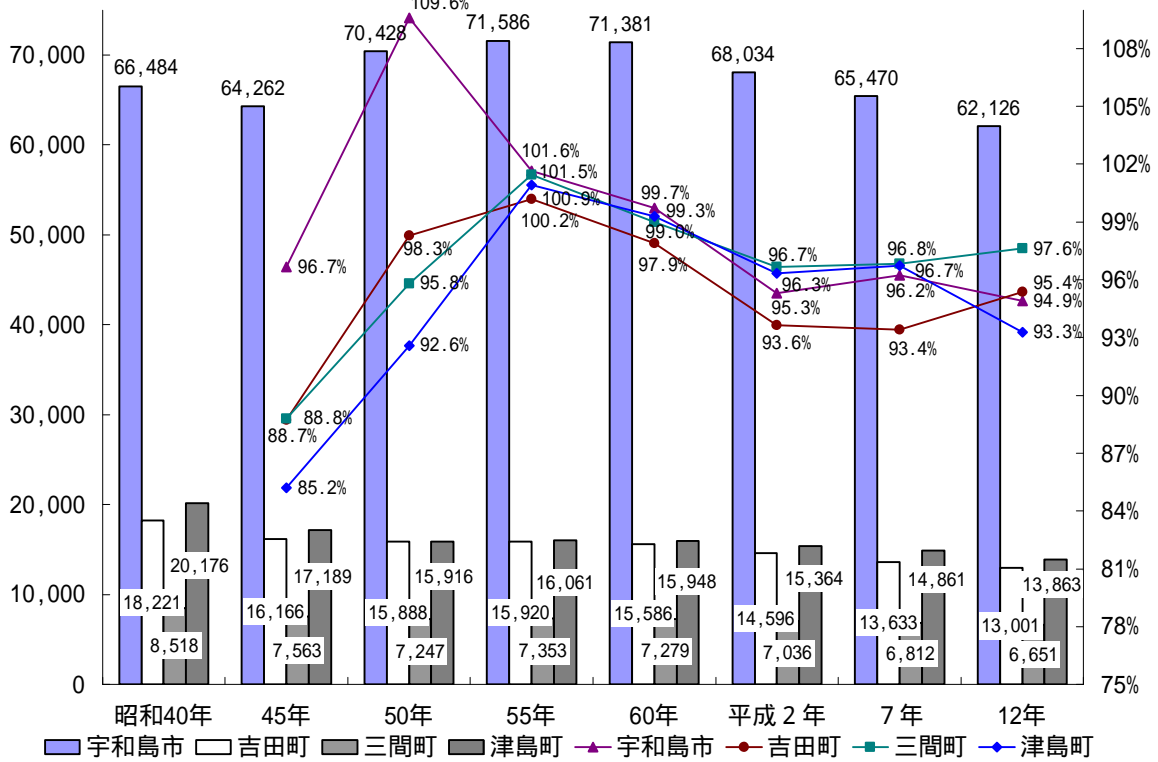
平成12年の年齢構成をみると、年少人口(0~14歳人口)比は14.5%と全国平均程度であるものの、老年人口(65歳以上)比は25.3%と県平均や全国平均を大きく上回っています。

四市町の人口・世帯数・1世帯あたり人口の推移



資料：国勢調査

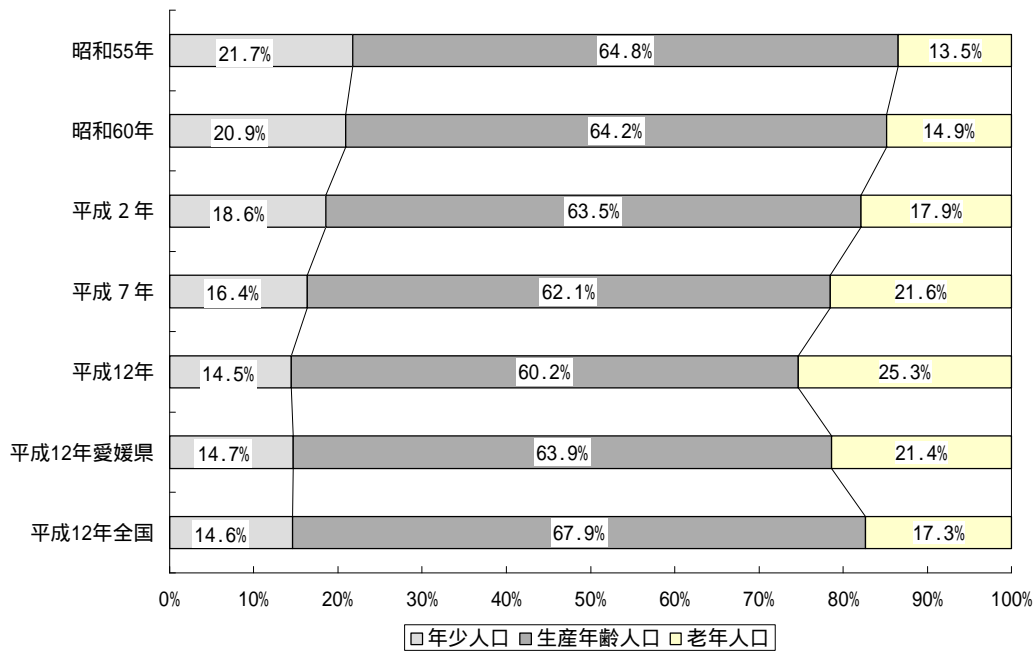
各市町別の人口と、5年前からの人口増減率の推移



資料：国勢調査

注)「5年前からの人口増減率」は、ある時点から過去5年間の人口増減数を明確にするための指数。
例えば、昭和45年の宇和島市の96.7%は、昭和40年から45年までの変化率を示しています。

四市町の年齢構成比の推移



資料：国勢調査

第4節 産業構造

第1項 総括

産業における各指標の「四市町合計」の「人口比に対する割合」は、工業指標を除いた水産業、農業、商業、観光の各指標で100%を超えています。特に水産業は、従事者数が県計の3割を占めるなど高い割合を示しており、四市町の主要な産業となっていることが分かります。

平成11年度の産業別総生産は、四市町合計で約2,600億円にのぼり、内訳は第1次産業が約200億円、第2次産業が約400億円、第3次産業が約2,000億円です。第3次産業の総生産の構成比は76.0%を占め、県平均の64.4%より高く、宇和島市の商業集積の高さを示しています。第1次産業では、水産業が約130億円と第1次産業の中で67.4%を占め、県平均が35.9%であることから、第1次産業における水産業への依存の高さがうかがえます。

産業の各指標と、人口比でみたそれらの県内での水準

		四市町 合計	愛媛県 合計	県計に占める 四市町合計の割合	人口比に 対する割合	出典	
人口		人	95,641	1,857,339	5.1%	平成12年国勢調査	
水産業	漁業経営体数	戸	1,752	6,972	25.1%	493%	平成10年 漁業センサス
	従事者数	人	4,213	13,345	31.6%	619%	
農業	販売農家数	戸	3,486	44,703	7.8%	153%	平成12年 農業センサス
	専業農家数	戸	967	12,702	7.6%	149%	
工業	事業所数	か所	180	3,893	4.6%	90%	平成12年 工業統計調査
	従業員数	人	3,193	100,617	3.2%	63%	
	製造品出荷額等	億円	461	34,670	1.3%	25%	
商業	商店数	店	2,167	25,493	8.5%	167%	平成11年 商業統計調査
	従業員数	人	10,229	138,094	7.4%	145%	
	年間販売額	億円	3,550	43,093	8.2%	162%	
観光	観光入込数	万人	181	2,372	7.6%	150%	平成12年観光 レクリエーション 入込客推計書

各市町の産業別総生産（平成11年度）

	実数（百万円）				構成比（%）		
	総計	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
宇和島市	188,101	11,262	23,934	152,905	6.0	12.7	81.3
吉田町	27,721	3,861	7,145	16,715	13.9	25.8	60.3
三間町	13,673	966	5,050	7,657	7.1	36.9	56.0
津島町	28,495	3,483	6,157	18,855	12.2	21.6	66.2
四市町計	257,990	19,572	42,286	196,132	7.6	16.4	76.0
愛媛県計	4,912,134	134,470	1,614,184	3,163,480	2.7	32.9	64.4

	実数（百万円）				構成比（%）		
	総計	農業	林業	水産業	農業	林業	水産業
宇和島市	11,262	1,508	45	9,709	13.4	0.4	86.2
吉田町	3,861	2,763	9	1,089	71.6	0.2	28.2
三間町	966	889	77	0	92.0	8.0	0.0
津島町	3,483	778	319	2,386	22.3	9.2	68.5
四市町計	19,572	5,938	450	13,184	30.3	2.3	67.4
愛媛県計	134,470	80,142	6,040	48,288	59.6	4.5	35.9

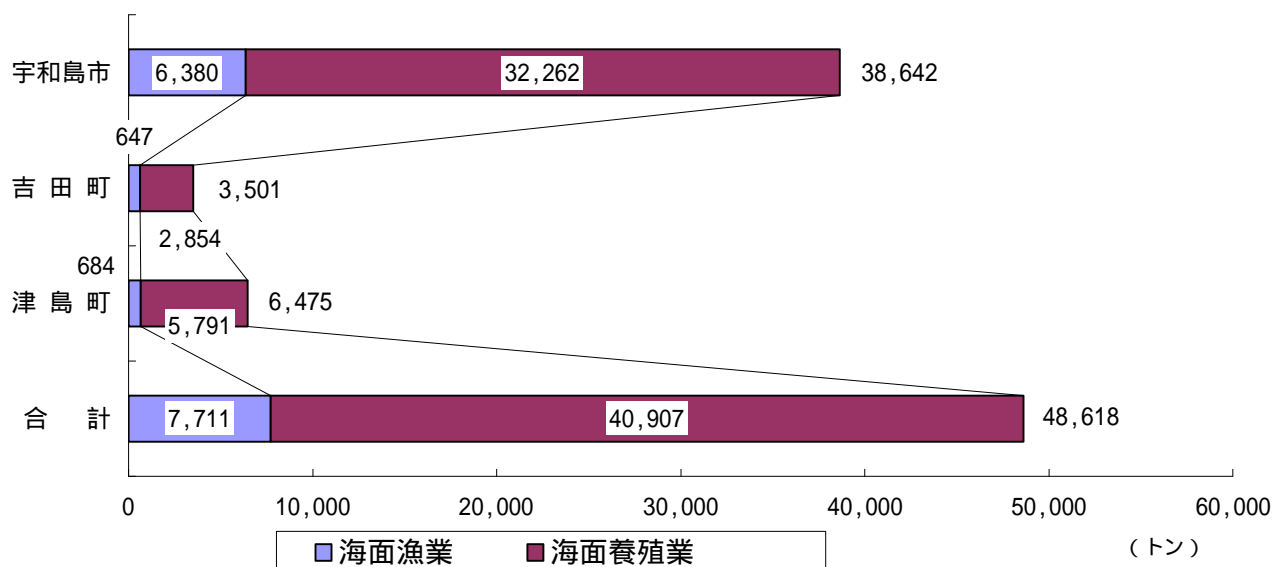
産業別総生産は、輸入税、その他、帰属利子を加算控除する前の数値。資料：愛媛県統計書

第2項 水産業

本地域の水産業は、マダイ、ぶり類を中心とした魚類養殖と真珠養殖が盛んです。

平成12年の総漁獲量は4万8,618トンで、内訳は、宇和島市が3万8,642トンと最も多く、次いで津島町が6,475トン、吉田町が3,501トンとなっています。そのうち海面養殖業の漁獲量は、4万907トンで全漁獲量の84%を占めています。海面養殖業が全漁獲量に占める割合は、三市町とも8割を超え、特に津島町が89%と高くなっています。

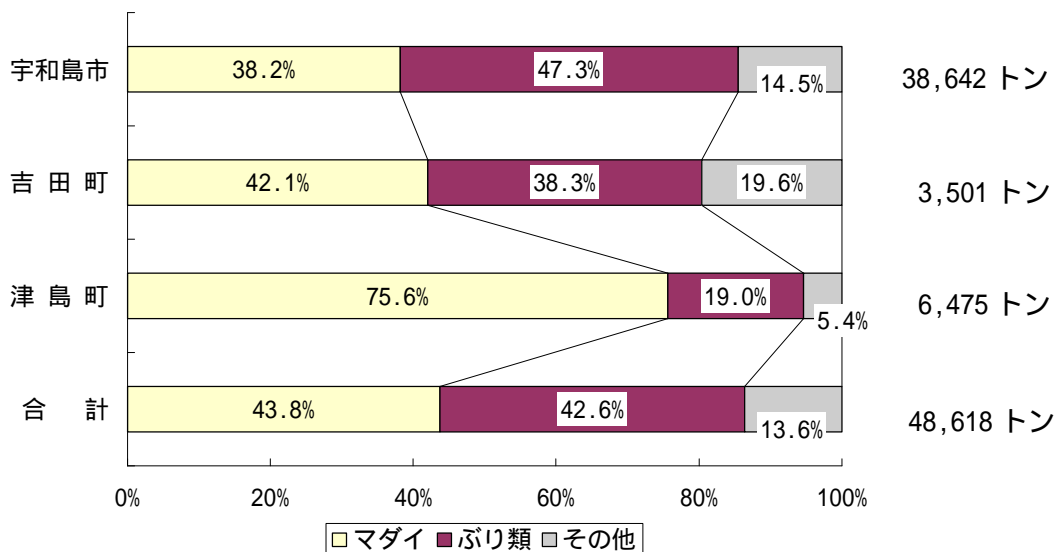
各市町の漁獲量（平成12年）



資料：各市町水産関係課

漁獲量の内訳は、マダイが全体の43.8%、ぶり類が42.6%で、その2つで全体の9割近くを占めます。市町別にみると、津島町ではマダイが7割を超えるのに対し、吉田町ではその他の魚種が2割近くあります。

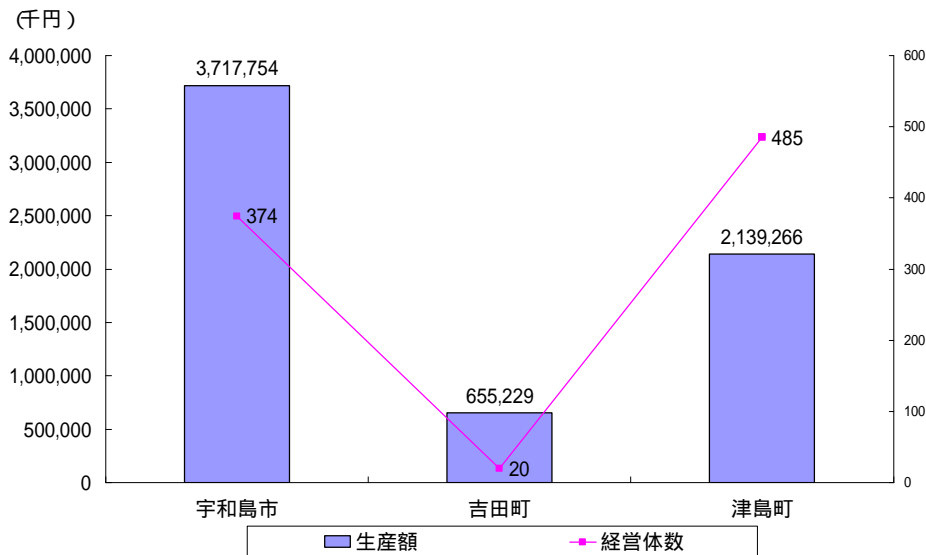
漁獲量と魚種（平成12年）



資料：各市町水産関係課

また、平成 12 年の真珠養殖・真珠母貝養殖の生産額については、宇和島市が約 37.1 億円と最も多く、次いで津島町が約 21.3 億円、吉田町が約 6.5 億円となっています。経営体数では、津島町が 485 と最も多く、次いで宇和島市が 374、吉田町が 20 となっています。

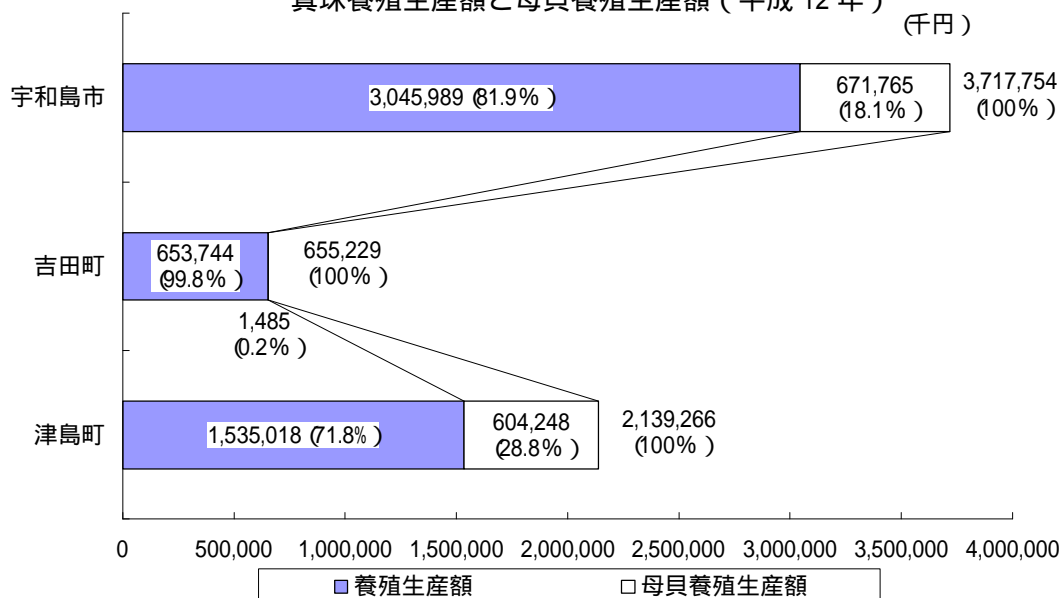
真珠養殖生産額と経営体数（平成 12 年）



資料：各市町水産関係課

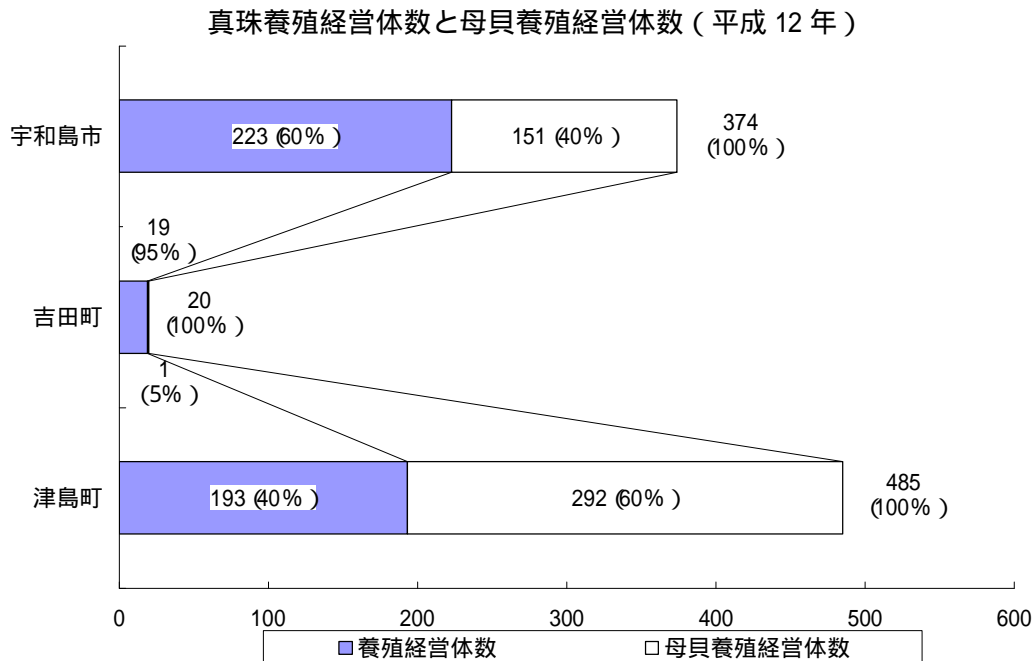
真珠養殖生産額と母貝養殖生産額をしてみると、真珠養殖生産額の比率が圧倒的に高く、金額では宇和島市が約 30.4 億円（81.9%）と最も多く、次いで津島町が約 15.3 億円（71.8%）、吉田町が約 6.5 億円（99.8%）となっています。

真珠養殖生産額と母貝養殖生産額（平成 12 年）



資料：各市町水産関係課

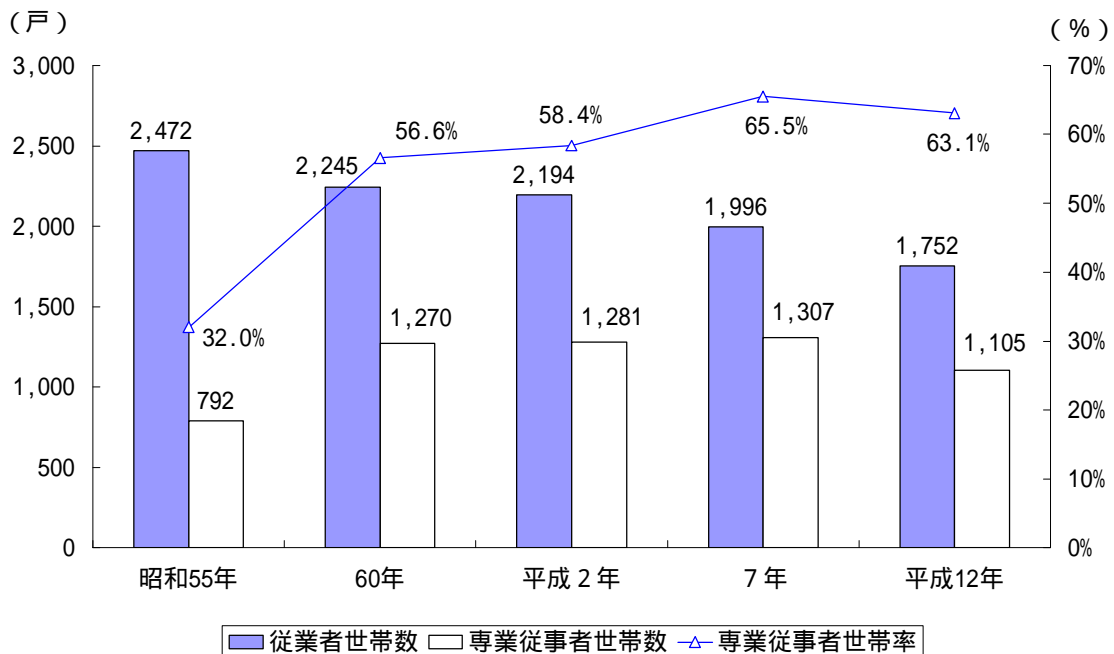
経営体数では、宇和島市と吉田町は真珠養殖経営体数が多く、津島町では逆に母貝養殖経営体数が多くなっています。



資料：各市町水産関係課

漁業従事者世帯数の推移をみると、総数は年々減少傾向にある一方、専業従業者世帯の比率は昭和 60 年から、ほぼ横ばいとなっています。

四市町の漁業従事者世帯数、専業漁業従事者世帯数、専業漁業従事者世帯数の割合の推移



資料：第 10 次漁業センサス

第3項 農業

四市町の農業は、吉田町・宇和島市・津島町のみかん等の果樹栽培と、三間町・津島町の米作が中心になっています。特に吉田町のみかんは、日本有数の収穫量を誇ります。

平成12年の農業就業者は6,666人、経営耕地面積は4,123ha、農家1戸当たりで62aになります。農業粗生産額は139.3億円で、その約50%の69.6億円が吉田町の生産額です。また、農家1戸当たりの生産額も吉田町が最も多く、県平均と比べ約3倍となっています。

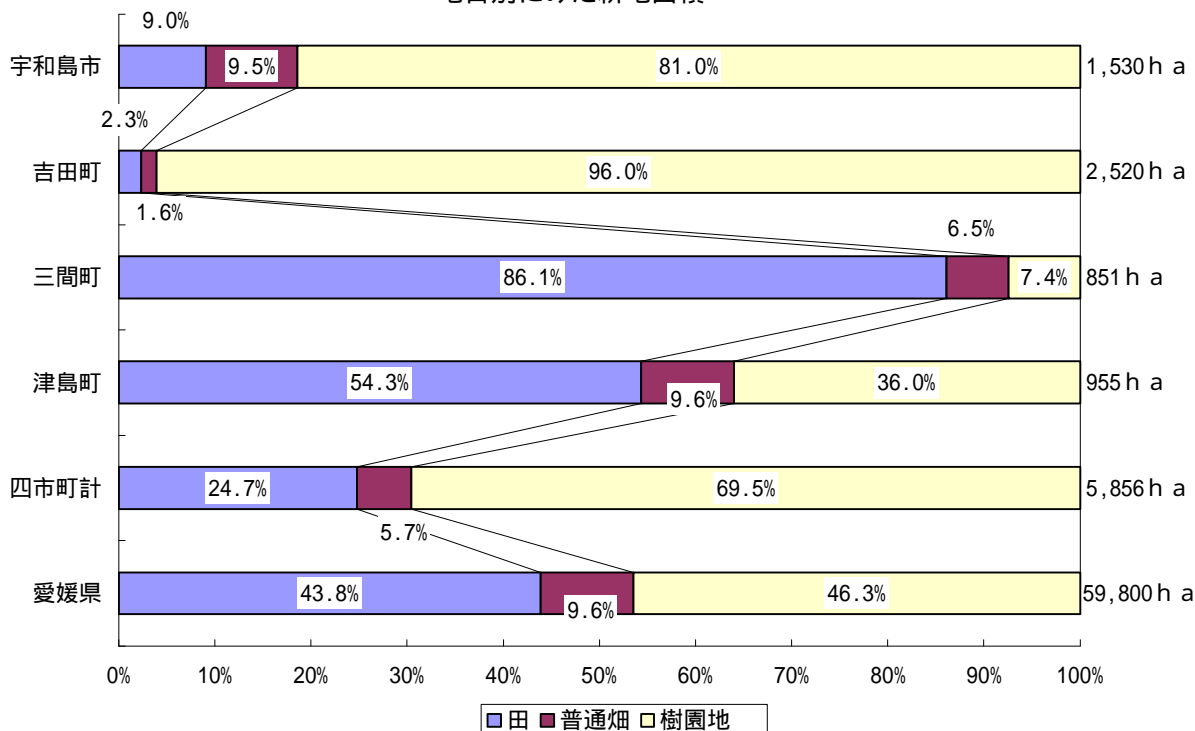
農業就業人口・経営耕地面積・農業粗生産額

	農業就業人口(人)	経営耕地面積(平成12年)		農業粗生産額(平成12年)			
		実数(ha)	1農家当たり(a)	総数(百万円)	農家1戸当たり(千円)	耕地面積10a当たり(千円)	農業就業者当たり(千円)
宇和島市	1,665	869	75	3,680	3,186	42	2,210
吉田町	2,852	1,978	161	6,960	5,682	35	2,440
三間町	1,039	709	85	1,630	1,962	23	1,569
津島町	1,110	567	52	1,660	1,511	29	1,496
四市町計	6,666	4,123	62	13,930	3,232	34	2,090
愛媛県計	77,587	43,280	56	122,500	1,975	28	1,579

資料：「統計でみる市区町村のすがた」、「農業センサス」

地目別にみた耕地面積は、四市町では樹園地が約7割を占めており、吉田町では96.0%にのびています。一方、三間町では、86.1%が田です。

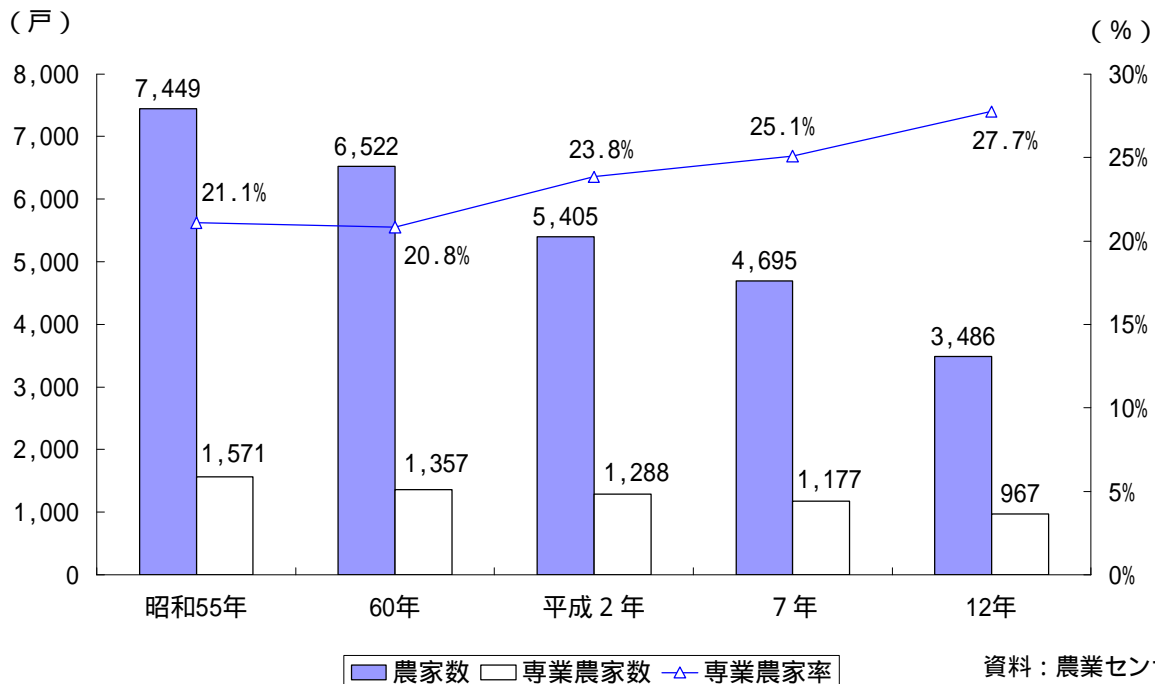
地目別にみた耕地面積



資料：農林水産省「市町村の姿」(平成13年)

農業センサスによると、四市町の農家数は昭和 55 年の 7,449 戸が平成 12 年の 3,486 戸と半数以下に減少し、専業農家は昭和 55 年の 1,571 戸から平成 12 年の 967 戸へと減少しています。一方、専業農家率は増加しています。

農家数、専業農家数、専業農家率の推移



第4項 林業

平成 12 年の四市町の林家総数は 2,905 戸で、非農家林家は 1,249 戸です。市町別では、宇和島市と津島町が多くなっています。

四市町の林業生産額は約 4.5 億円で、県合計の約 7.5% を占めます。市町別では、津島町が約 3.2 億円で四市町全体の 7 割を占めています。

林家数と林野面積 (平成 12 年)

	林家計		農家林家		非農家林家		生産額 (百万円)
	林家数 (戸)	面積 (ha)	林家数 (戸)	面積 (ha)	林家数 (戸)	面積 (ha)	
宇和島市	946	4,785	363	1,721	583	3,064	45
吉田町	222	846	180	692	42	154	9
三間町	660	3,094	489	2,236	171	857	77
津島町	1,077	5,848	624	4,089	453	1,759	319
四市町計	2,905	14,573	1,656	8,738	1,249	5,834	450
愛媛県計	29,611	176,424	19,802	116,790	9,809	59,634	6,040

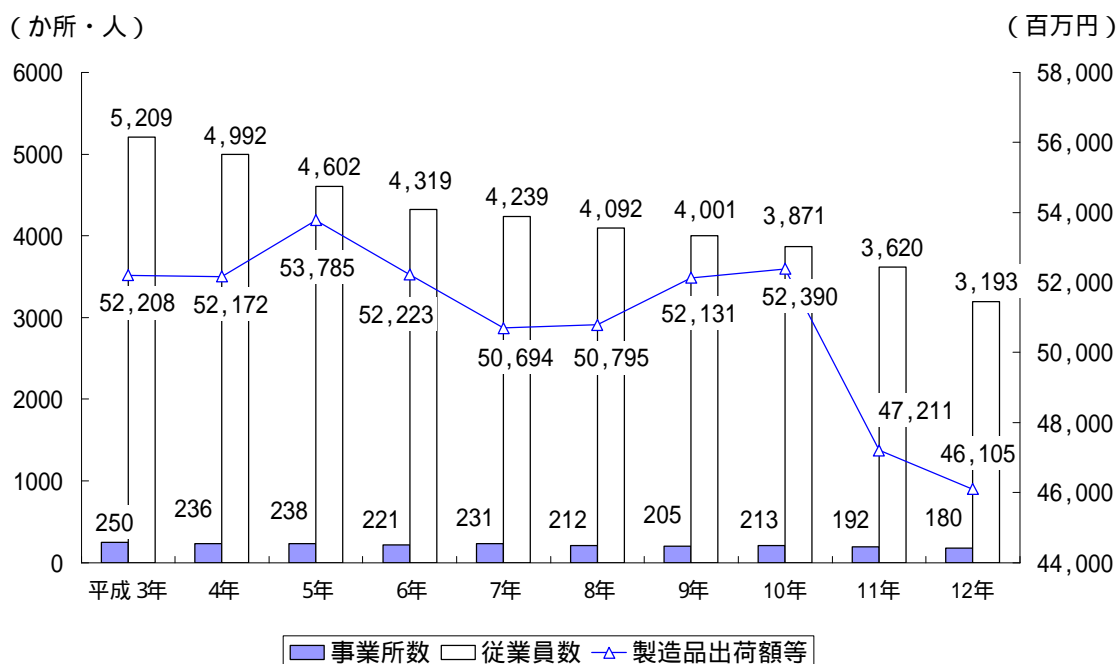
資料：愛媛県統計書

第5項 工業

工業統計表によると、四市町における平成12年の4人以上の事業所数は180か所、従業員数は3,193人で、製造品出荷額等()は約461億円です。市町別では、宇和島市がいずれの指標も6～7割を占めています。三間町は、事業所数は四市町のなかで最も少なくなっていますが、規模の大きい企業があるため従業員数、製造品出荷額等では宇和島市に次いでいます。

四市町における推移をみると、長引く不況の影響などにより各指標とも減少傾向にあり、特に製造品出荷額等は平成10～12年に大きく減少しています。

事業所数、従業員数、製造品出荷額等の推移



	事業所数	従業員数 (人)	製造品出荷額等 (百万円)	粗付加価値額 (百万円) ()
宇和島市	121	1,821	30,419	10,828
吉田町	21	499	4,104	1,396
三間町	17	535	8,812	3,312
津島町	21	338	2,770	1,569
四市町計	180	3,193	46,105	17,105
愛媛県計	3,893	100,617	3,467,093	1,273,340

資料：工業統計表（平成12年）

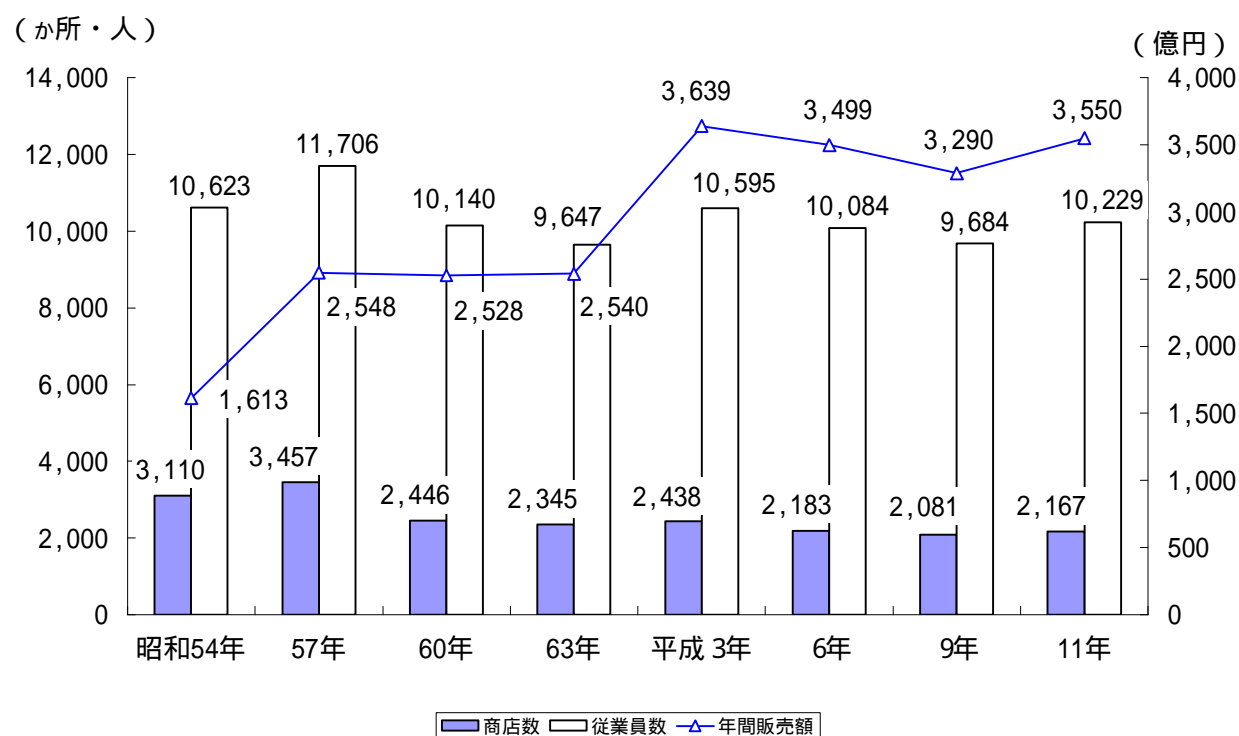
- ()製造品出荷額等：調査日前1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、修理料収入額、製造工程から出たくず及び廃物の出荷額及びその他の収入額の合計。
- ()粗付加価値額：製造品出荷額等から内国消費税額（消費税法等の規定により課せられる消費税、酒税、たばこ税、揮発油税、地方道路税、石油ガス税又は石油税をいう。）及び原材料使用額等を差し引いたもの。

第6項 商業

商業統計調査によると、四市町の平成11年の商店数は2,167カ所、従業員数は10,229人、年間販売額は約3,550億円です。市町別では、宇和島市がすべての指標で8～9割を占め、広域的な商業拠点となっていることがわかります。

四市町における推移をみると、長期的には商店数は減少傾向を示しており、従業員数と年間販売額は平成3年以降、ほぼ横ばいとなっています。

商店数、従業員数、年間販売額の推移



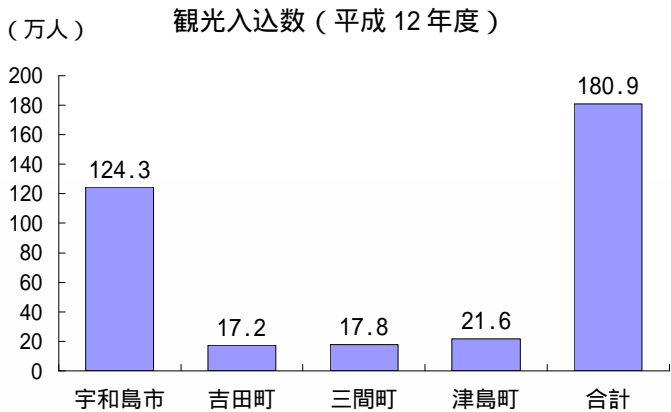
	商店数	従業員数 (人)	年間販売額 (百万円)
宇和島市	1,624	8,535	329,171
吉田町	246	784	11,125
三間町	68	222	4,838
津島町	229	688	9,816
四市町計	2,167	10,229	354,950
愛媛県計	25,493	138,094	4,309,380

資料：商業統計表

第7項 観光

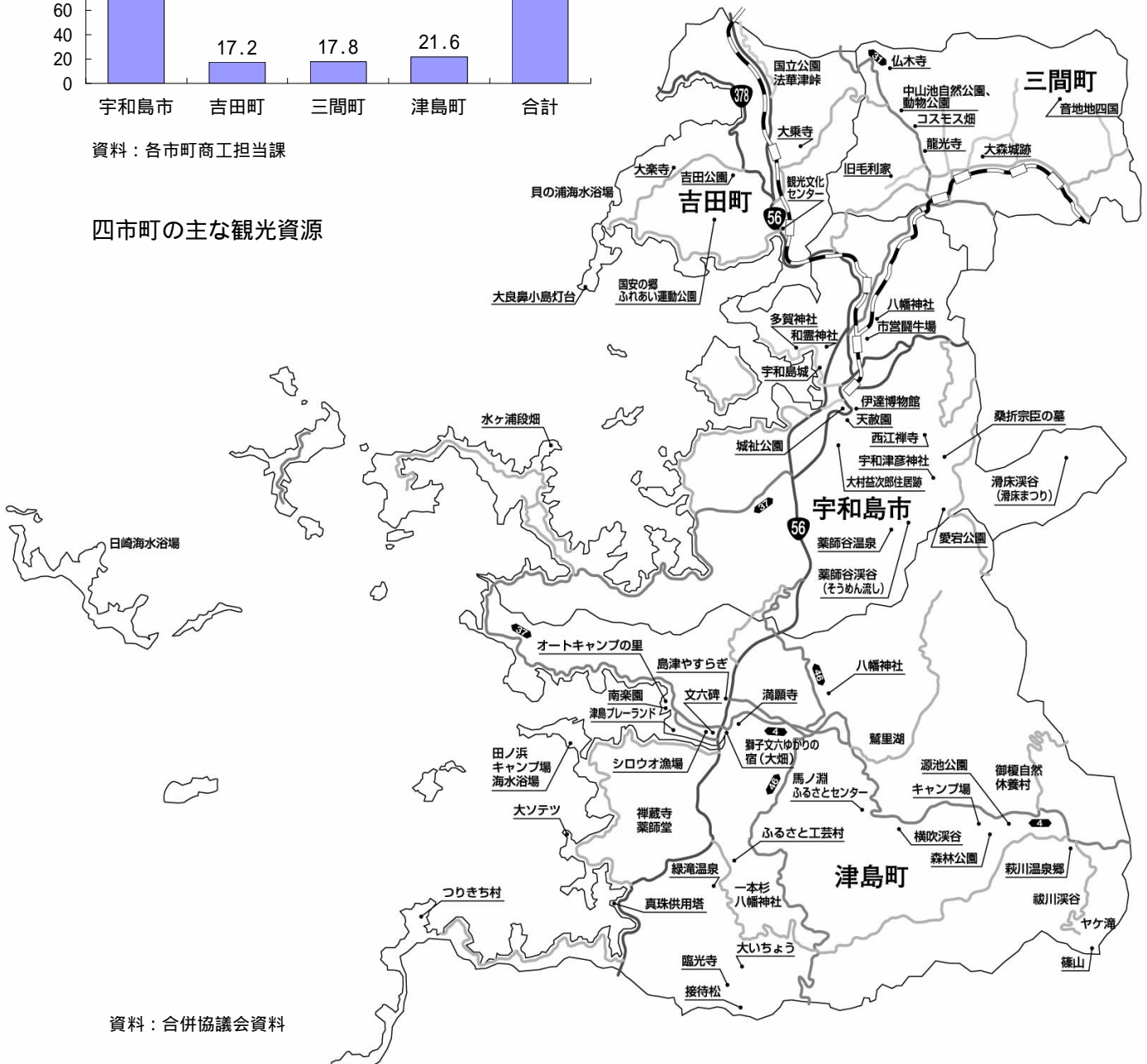
四市町の主な観光資源は、宇和島市の天赦園、宇和島城、伊達博物館、滑床渓谷、吉田町の吉田ふれあい国安の郷、三間町の札所（龍光寺、仏木寺）、津島町の南楽園、津島やすらぎの里熱田温泉などがあります。海水浴や釣り、お遍路などの目的を絞った観光客や、夏祭り、物産展などのイベント時の観光客も多くなっています。

平成12年の観光入込数は約180万人で、宇和島市が約124万人を占めています。



資料：各市町商工担当課

四市町の主な観光資源

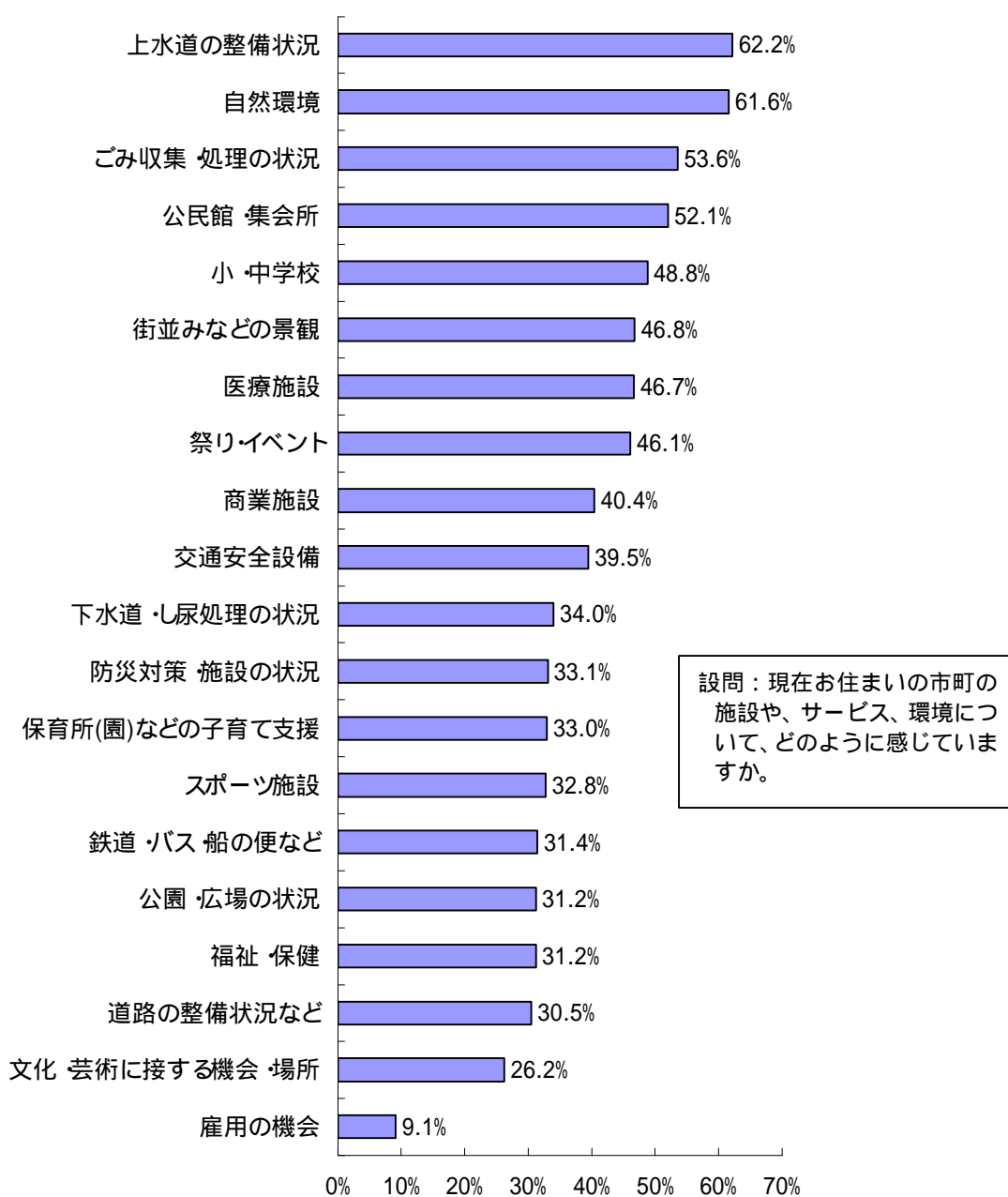


資料：合併協議会資料

第5節 生活環境・生活条件に対する評価

生活環境・生活条件に対する評価は、「宇和島市・吉田町、三間町、津島町の将来のまちづくり（新市将来構想）についてのアンケート」（以下住民意識調査という）によると、「非常に満足」「まあ満足」を合わせた比率で、「上水道の整備状況」が最も高く、次いで「自然環境」「ごみ収集・処理の状況」「公民館・集会所」「小中学校」「街並みなどの景観」などの順となっています。逆に満足度が低いのは「雇用の機会」「文化・芸術に接する機会や場所」「道路の整備状況」などとなっており、こうした項目については、その改善が求められます。

生活環境・生活条件に対する評価



資料：住民意識調査

第6節 広域的な生活のひろがりの現状

第1項 通勤・通学先

四市町住民の通勤先を市町別にみると、自市町内で就業する割合は、三間町が6割と低く、吉田町、津島町は8割台で、宇和島市は9割以上にのぼります。自市町内以外で就業する割合は、吉田町、三間町、津島町では宇和島市への通勤が多く、三間町では3割にのぼり、宇和島市が四市町の主要な雇用の場となっていることがわかります。

一方、通学先では、宇和島市と津島町住民は、自市町内に通学する割合が7～8割に達しているものの、吉田町、三間町では4～5割にとどまり、吉田町、三間町では宇和島市への通学が3～4割にのぼり、宇和島市への依存の割合は、通勤の場合よりも高いことがわかります。

市町別にみた通勤先

(単位：人)

	自市町内	他の市町への流出			
		津島町	吉田町	三間町	その他
宇和島市	94.2%	1.4%	0.8%	0.6%	3.0%
吉田町	83.1%	宇和島市 12.6%	三間町 0.5%	津島町 0.2%	その他 3.6%
三間町	61.3%	宇和島市 28.7%	吉田町 1.5%	津島町 0.5%	その他 3.5%
津島町	86.6%	宇和島市 10.2%	吉田町 0.1%	三間町 0.1%	その他 3.0%

資料：国勢調査

市町別にみた通学先

(単位：人)

	自市町内	他の市町への流出			
		吉田町	津島町	三間町	その他
宇和島市	78.1%	10.6%	4.4%	2.8%	4.1%
吉田町	54.5%	宇和島市 31.2%	三間町 0%	津島町 0%	その他 14.3%
三間町	38.9%	宇和島市 39.7%	吉田町 8.1%	津島町 0%	その他 13.3%
津島町	66.2%	宇和島市 26.8%	吉田町 1.4%	三間町 0.3%	その他 5.3%

資料：国勢調査

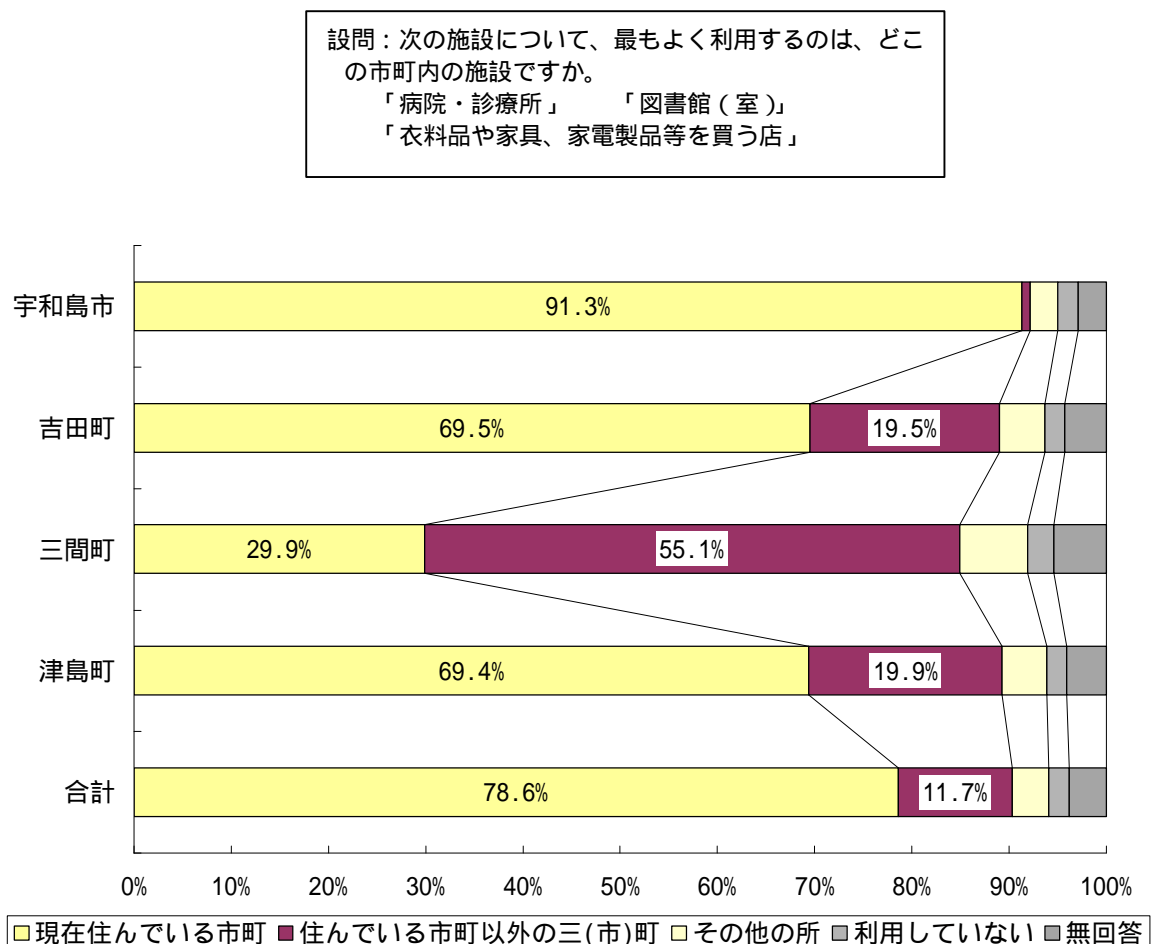
第2項 よく利用する施設の種類

住民意識調査によると、「最もよく利用する施設のある市町」については、「病院・診療所」は全体では8割が「住んでいる市町」の施設を利用しており、「衣料品や家具、家電製品等を買う店」では6割となっていますが、「図書館(室)」ではその割合が3割強にとどまっています。

「住んでいる市町以外の三市町」を利用するケースをあわせると、四市町の施設を最も利用する住民は、「病院・診療所」では9割、「衣料品や家具、家電製品等を買う店」では8割と地域内の施設利用割合の高さがうかがえますが、「図書館(室)」では4割と低い比率になっています。

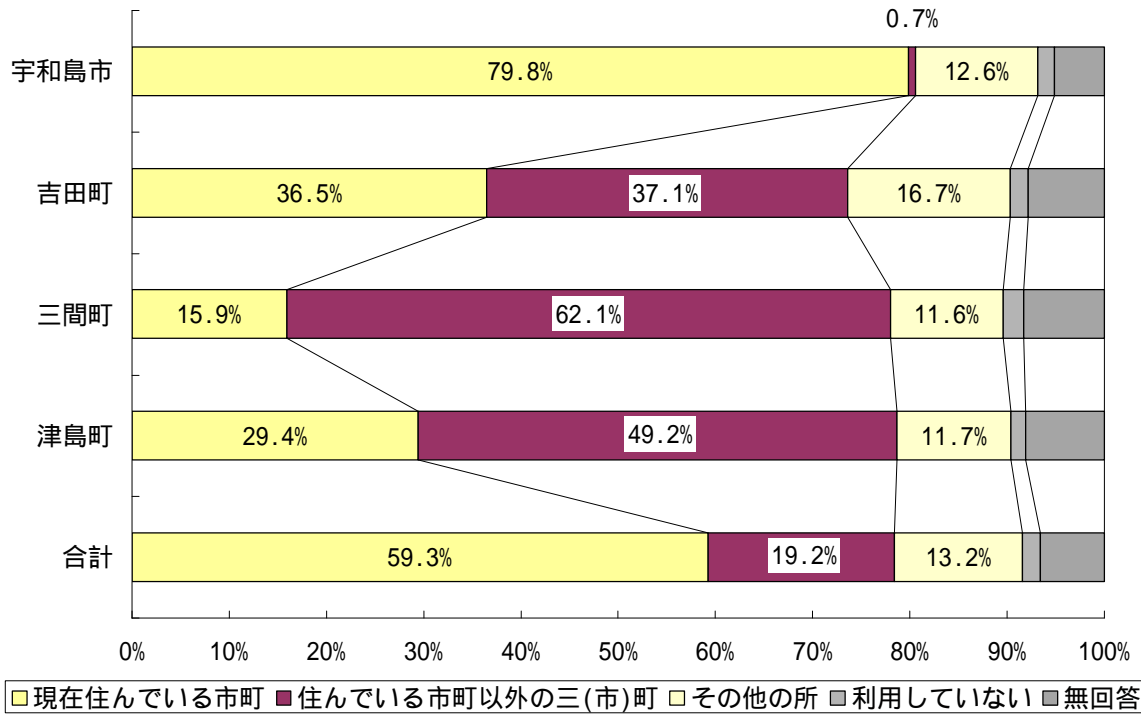
市町別では、三間町民が「住んでいる市町以外の三市町」の施設を利用する割合が「病院・診療所」で6割近くと高くなっています。

最もよく利用する病院・診療所のある市町



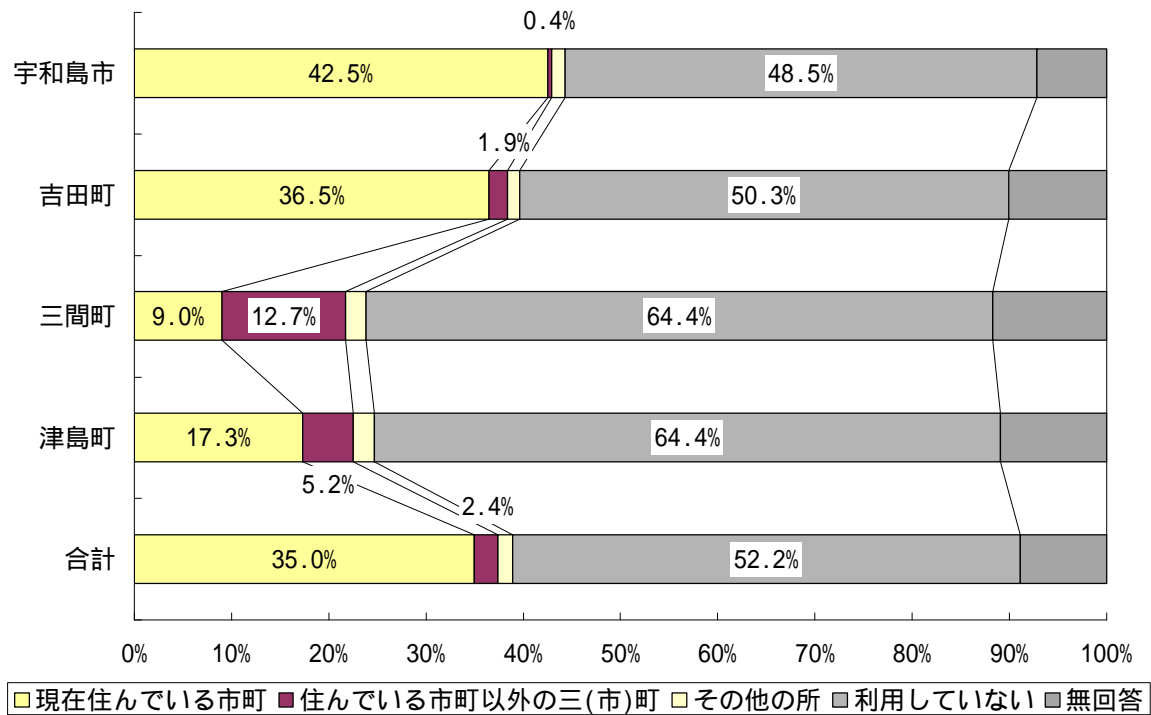
資料：住民意識調査

最もよく利用する「衣料品や家具、家電製品等を買う店」のある市町



資料：住民意識調査

最もよく利用する図書館(室)のある市町



資料：住民意識調査

第7節 行財政の現状

第1項 行財政指標の状況

平成15年4月1日現在の四市町の行政機構と、平成13年度の各種財政指標の状況は、次の通りです。

行政機構では、特筆すべきこととしては、宇和島市のみが部制を敷いていること、宇和島市、吉田町、津島町に市町立の病院があることがあります。部課数は、宇和島市が5部24課2室1病院その他8、吉田町が10課1室1病院その他7、三間町が10課1室その他3、津島町が15課2室1病院その他8となっています。一般事務職員数（企業会計職員・保育士・保健師など除く）は宇和島市が401人、吉田町が134人、三間町が69人、津島町が147人となっています。市町村合併があると、新市は現在の各市町の行政機構を参考に、新しい行政機構が編成され、職員が再配置されるとともに、長期的には新市の適正数まで減少していくことになると考えられます。

一方、財政指標では、普通会計ベースで歳出総額は、宇和島市が約257億円、吉田町が約63億円、三間町が約39億円、津島町が約97億円となっており、地方債残高は、宇和島市が約267億円、吉田町が約78億円、三間町が約44億円、津島町が約76億円となっています。財政力指数（ ）は、宇和島市0.438、吉田町0.206、三間町0.211、津島町0.196、経常収支比率（ ）は、宇和島市が86.2、吉田町が90.1、三間町が81.2、津島町が81.6です。公債費比率（ ）は、宇和島市15.3、吉田町19.3、三間町13.6、津島町10.0となっています。基金残高は、宇和島市が約13億円、吉田町が約3億円、三間町が約10億円、津島町が約26億円となっています。四市町とも財政状況は厳しくなっています。

四市町の行政機構と行財政指標

（単位：人・％・千円）

	宇和島市	吉田町	三間町	津島町	資料
部課数	5部24課2室 1病院その他8	10課1室1病院 その他7	10課1室 その他3	15課2室1病院 その他8	平成15年 4月1日
職員数	1,130	336	97	346	同上
内一般事務職員	401	134	69	147	
歳入総額	26,020,794	6,379,026	4,053,671	10,163,708	平成13年度決算
歳出総額	25,708,625	6,307,039	3,911,887	9,694,860	同上
地方債残高	26,701,543	7,783,785	4,422,075	7,554,248	同上
財政力指数	0.438	0.206	0.211	0.196	同上
経常収支比率	86.2	90.1	81.2	81.6	同上
公債費比率	15.3	19.3	13.6	10.0	同上
基金残高	1,303,640	312,997	978,153	2,559,800	同上

資料：合併協議会資料

- () 財政力指数：自治体の財政力を判断する指標。地方交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で割ったもので、過去3年間の平均値を用いる。数値が高いほど財政に余裕があると見られ、1を超えると普通地方交付税が不交付となる。
- () 経常収支比率：地方税などの経常的に収入される一般財源のうち、人件費や公債費（地方債元利償還額）などの経常的な義務的支出がどれだけにあたるのかを示す比率。この比率が高いほど、いわば多様なニーズに対応できない財政構造になっていることを意味し、財政の硬直化が進んでいることになる。
- () 公債費比率：市（町）税等一般財源で支払う地方債元利償還額を一般財源額で割ったもの。財政構造の健全性（長期安定性）を示すものであり、この比率が高ければそれだけ後年度負担が大きいことを意味する。

第2項 公共公益施設の状況

四市町の主要な公共施設は、各市町の市役所・役場のほか、各市町の施設として以下のものがあります。

広域常備消防体制としては、宇和島地区広域事務組合の消防本部・消防署が宇和島市にあり、吉田町に吉田分署、津島町に津島分署があります。

生涯学習・スポーツ施設では、宇和島市に宇和島地区広域事務組合が運営管理する南予文化会館、市立図書館・生涯学習センター、総合体育館などがあります。吉田町には図書館、ふれあい運動公園（温水プール等）などが、三間町には町民会館（イベントホール・展示室等）、三間町運動公園（テニスコート等）などが、津島町には中央公民館や津島勤労者体育センターなどがあります。公民館は、宇和島市に21か所、吉田町に6か所、三間町に1か所、津島町に7か所あります。

医療・保健・福祉施設では、医療施設として市立宇和島病院、町立吉田総合病院、町立津島病院があります。各市町の保健福祉の拠点としては、宇和島市の総合福祉センター・保健センター、三間町の保健福祉センター、津島町の保健センターがあります。また、高齢者の入所施設は、宇和島地区広域事務組合が管理・運営する介護老人福祉施設光来園（宇和島市）や美沼荘（三間町）、また、町立の介護老人保健施設ふれあい荘（津島町）やオレンジ荘（吉田町）などがあります。

ごみ処理としては、宇和島市には環境センター、吉田町は一般廃棄物焼却施設、三間町は鬼北環境センター、津島町はクリーンセンターがそれぞれあります。し尿処理施設については、宇和島地区広域事務組合が管理・運営するクリーンセンターが宇和島市にあります。

教育施設では、小学校は宇和島市に18校、吉田町に5校、三間町に3校、津島町に13校（内、分校が2校）、中学校は宇和島市に5校、吉田町、三間町、津島町に各1校です。高等学校は宇和島市に3校、吉田町、三間町、津島町に1校ずつあります。また、宇和島市に私立の短期大学があります。

幼稚園は、宇和島市に幼稚園は9か所（内公立4）、吉田町に1か所（私立）、三間町に1か所（公立）、津島町に3か所（公立）です。保育所は、宇和島市に19か所（内公立14）、吉田町に7か所（公立）、三間町に3か所（公立）、津島町に4か所（公立）です。

こうした各市町の公共施設の多くのは、各市町の住民のみ使用できたり、住民以外の利用が可能であっても、他市町住民が、利用しにくく利用に結びつかないものがほとんどですが、合併により、他市町にある施設の利用が促進され、利便性の向上と効率化が図られるものと考えられます。行政側からみても、施設の有効利用につながると考えられます。

また、四市町には宇和島市を中心として、多くの国や県の施設があります。

国の機関では、宇和島市に検察庁や地方（家庭・簡易）裁判所、税務署、税関、社会保険事務所、公共職業安定所、労働基準監督署をはじめとする多くの支所・出張所があります。県の施設については、宇和島市に宇和島地方局ほか警察署や教育事務所、保健所、児童相談所、水産試験場など多くの出先機関や研究所があるほか、吉田町に果樹試験場南予分場があります。

教育施設等の状況

項 目		宇和島市	吉田町	三間町	津島町	四市町計
幼稚園 (H15.5.1)	公立幼稚園数	4	-	1	3	8
	公立幼稚園園児数	216	-	41	107	364
	私立幼稚園数	5	1	-	-	6
	私立幼稚園園児数	444	50	-	-	494
小学校 (H15.5.1)	小学校数	18	5	3	13	39
	児童数	3,416	710	323	841	5,290
中学校 (H15.5.1)	中学校数(県立含む)	5	1	1	1	8
	生徒数(県立含む)	1,871	329	211	463	2,874
高等学校 (H15.5.1)	高等学校数	3	1	1	1	6
	生徒数	2,079	667	165	416	3,327
短期大学 (H15.5.1)	私立短期大学数	1	-	-	-	1
	学生数	299	-	-	-	299

資料：各市町教育委員会

医療施設の状況

	医 療 施 設 数				施設当たりの人口	
	病院・ 診療所計	一般 病院	一般 診療所	歯科 診療所	一般病院・ 診療所(人)	歯科 診療所(人)
宇和島市	110	4	75	31	786	2,004
吉田町	12	1	7	4	1,625	3,250
三間町	4	0	3	1	2,217	6,651
津島町	11	1	5	5	2,310	2,773
四市町計	137	6	90	41	996	2,333
愛媛県計	1,947	143	1,161	643	1,145	2,322

資料：「2002 統計でみる市区町村のすがた」

福祉施設の状況

	児 童 関 係		老 人 関 係	障 害 者 関 係	
	保育所	へき地 保育所	老人 ホーム	身体障害者 更正援護施設	知的障害者(児) 援護施設
宇和島市	16	3	3	1	1
吉田町	7	-	1	-	-
三間町	3	-	1	-	-
津島町	4	-	-	-	1
四市町計	30	3	5	1	2

資料：「2002 統計でみる市区町村のすがた」

平成 13 年度宇和島地区広域事務組合各会計歳入歳出決算書添付資料